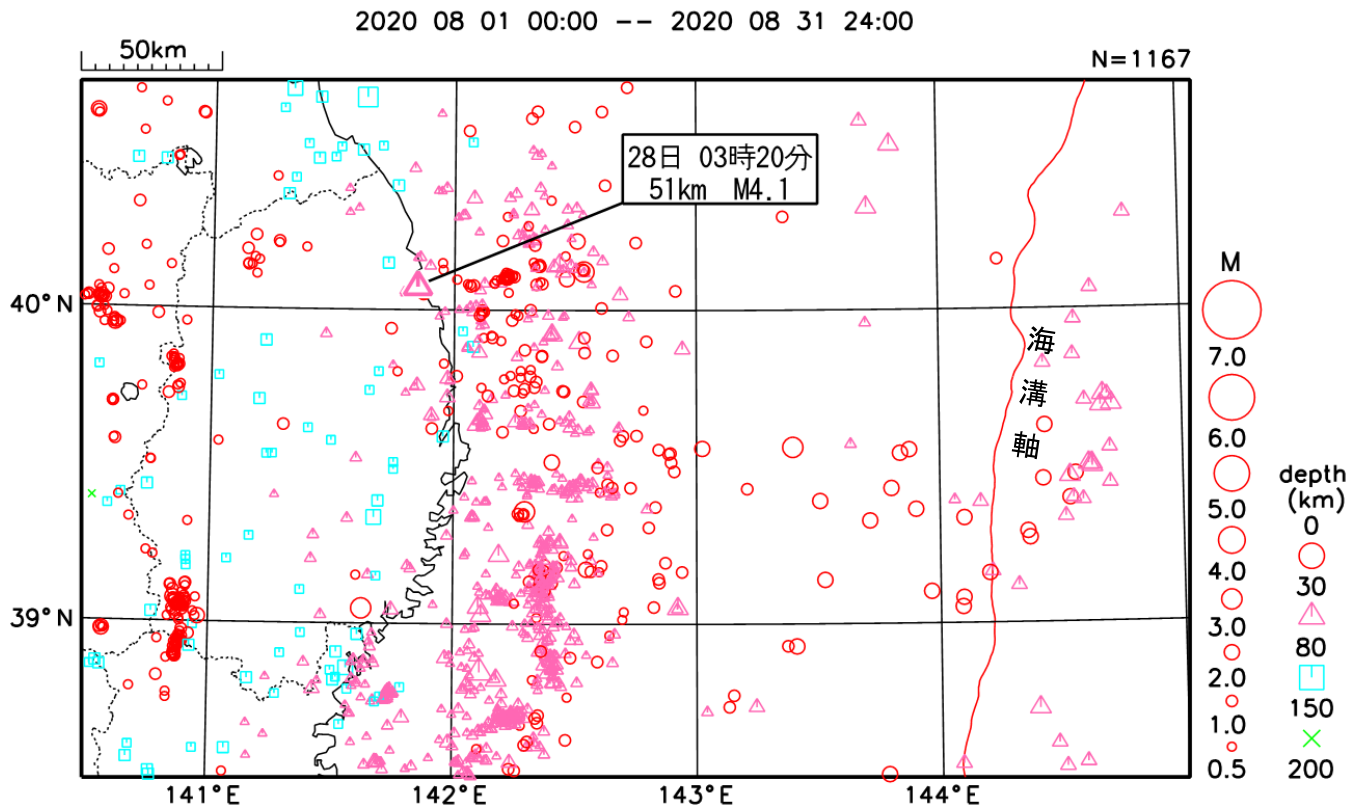


岩手県月間地震概況

2020（令和2）年8月

盛岡地方気象台

震央分布図



【概況】 ※吹き出しをつけた地震は概況でふれたものである。

今期間、図の範囲内で観測した地震は 1167 回（先月 1149 回）、岩手県内で震度 1 以上を観測した地震は 10 回（先月 19 回）であった。

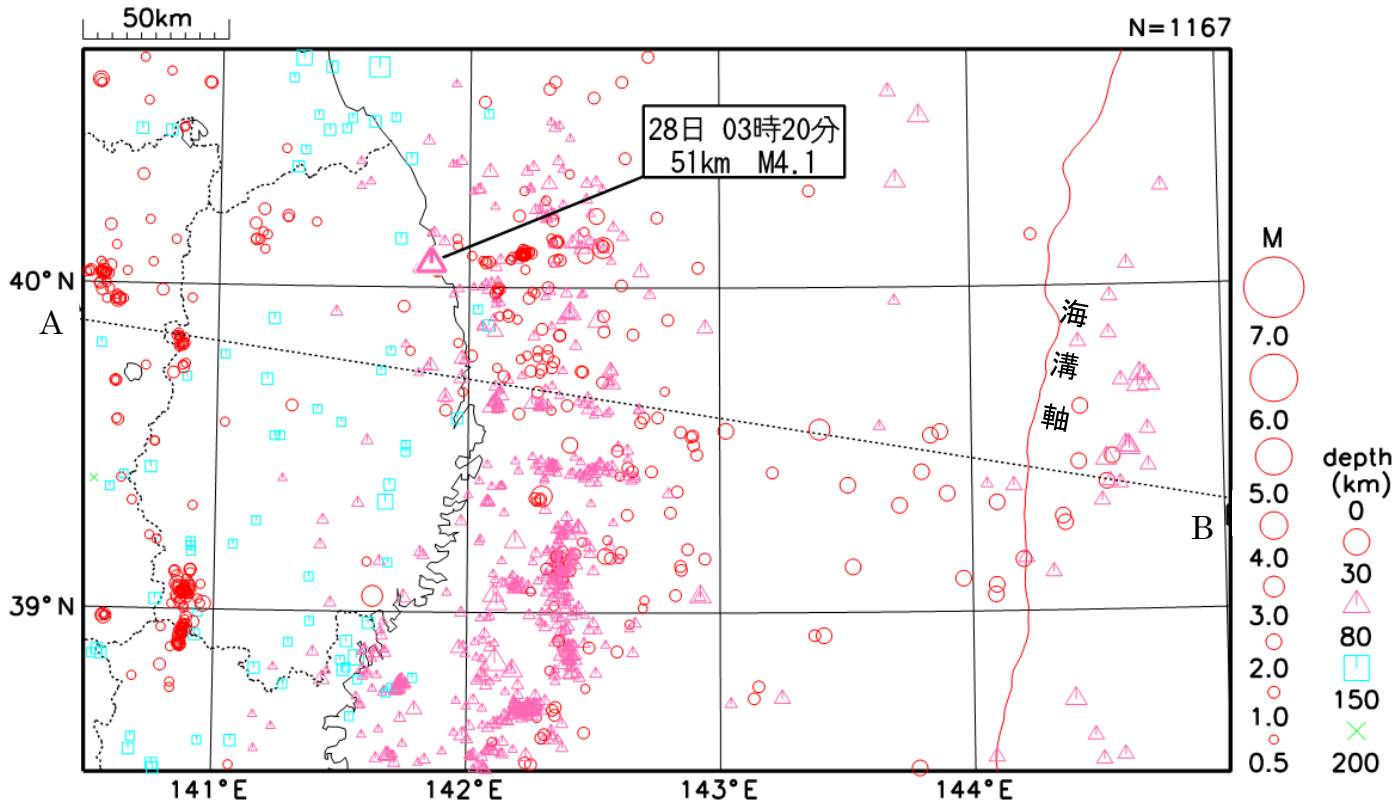
6 日 02 時 54 分に茨城県沖（図の範囲外）で M5.6 の地震が発生し、茨城県、栃木県、福島県で最大震度 3 を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度 2～1 を観測した。岩手県では盛岡市、普代村、野田村で震度 2 を観測したほか、内陸と沿岸北部で震度 1 を観測した。

28 日 03 時 20 分に岩手県沿岸北部の深さ 51km で M4.1 の地震が発生し、青森県で最大震度 3 を観測したほか、岩手県、宮城県で震度 2～1 を観測した。岩手県では、宮古市、久慈市、盛岡市などで震度 2 を観測したほか、ほぼ全域で震度 1 を観測した。

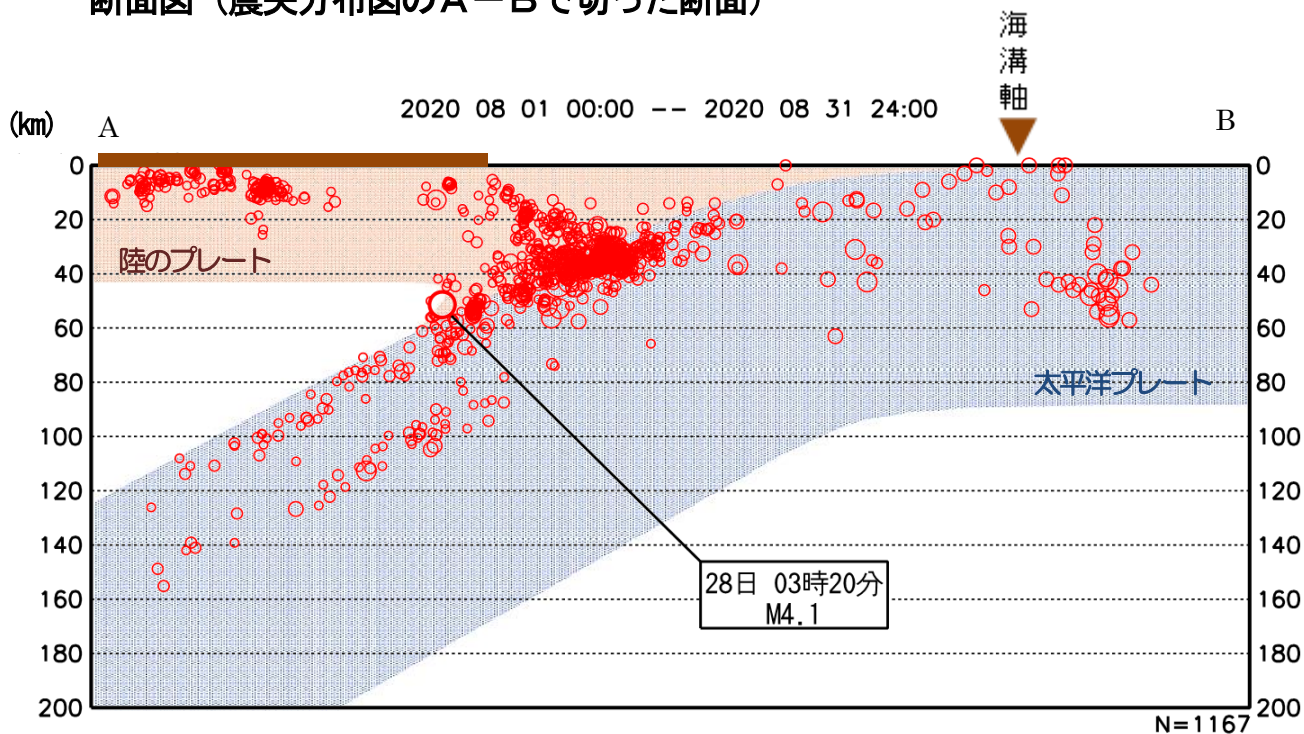
【注】 各地の震度の詳細については、「岩手県で震度 1 以上を観測した地震」の表を参照。なお、使用した震源要素等は再調査により変更することがある。

震央分布図

2020 08 01 00:00 -- 2020 08 31 24:00



断面図（震央分布図のA-Bで切った断面）



※陸地から遠く離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど震源の深さ精度は良くない。断面図で見られる沖合の地震の震源は、実際にはより浅いところ（深さ10~30km）のものが多く考えられる。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

岩手県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2020年8月1日～2020年8月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2020年08月03日01時49分	岩手県沖	39° 04.7' N	142° 11.9' E	43km	M3.5
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 住田町世田米*		一関市千厩町*		一関市室根町*
2020年08月06日02時54分	茨城県沖	36° 13.4' N	141° 36.2' E	54km	M5.6
岩手県	震度 2 : 普代村銅屋* 野田村野田*		盛岡市藪川*		
	震度 1 : 宮古市田老* 久慈市川崎町		盛岡市山王町		矢巾町南矢幅* 花巻市石鳥谷町*
	北上市柳原町				
2020年08月06日12時06分	新潟県中越地方	37° 20.6' N	138° 49.1' E	186km	M5.1
岩手県	震度 1 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市五月町*		宮古市田老*		山田町八幡町 山田町大沢*
	大船渡市大船渡町 陸前高田市高田町*		釜石市中妻町*		住田町世田米*
	盛岡市藪川*		一関市千厩町*		一関市東山町* 一関市室根町* 一関市藤沢町*
2020年08月07日00時34分	三重県南東沖	33° 45.5' N	136° 50.5' E	389km	M5.3
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 釜石市中妻町*		住田町世田米*		一関市室根町*
2020年08月09日17時54分	宮城県沖	38° 49.2' N	142° 10.7' E	45km	M3.6
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町				
2020年08月25日09時08分	岩手県沖	39° 01.6' N	142° 06.9' E	56km	M3.6
岩手県	震度 1 : 大船渡市猪川町 住田町世田米*		一関市千厩町*		一関市室根町*
2020年08月27日09時48分	宮城県沖	38° 50.7' N	142° 06.6' E	44km	M4.0
岩手県	震度 2 : 大船渡市大船渡町				
	震度 1 : 大船渡市猪川町 大船渡市盛町*		陸前高田市高田町*		釜石市只越町
	釜石市中妻町*		住田町世田米*		遠野市青笹町* 一関市千厩町* 一関市室根町*
	一関市藤沢町*				
2020年08月27日19時46分	岩手県沖	39° 13.0' N	142° 11.2' E	53km	M3.8
岩手県	震度 1 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町		陸前高田市高田町*		釜石市只越町
	釜石市中妻町*		住田町世田米*		一関市大東町 一関市千厩町* 一関市室根町*
2020年08月28日03時20分	岩手県沿岸北部	40° 04.3' N	141° 50.8' E	51km	M4.1
岩手県	震度 2 : 宮古市鉾ヶ崎 宮古市五月町*		宮古市区界*		宮古市田老* 久慈市川崎町
	久慈市枝成沢 久慈市長内町*		田野畑村田野畑 田野畑村役場*		岩手洋野町種市
	岩手洋野町大野*		盛岡市馬場町*		盛岡市藪川* 盛岡市洪民* 一戸町高善寺*
	八幡平市田頭*		軽米町軽米*		九戸村伊保内* 矢巾町南矢幅*
震度 1 :	宮古市長沢 宮古市川井*		宮古市茂市*		久慈市山形町* 山田町八幡町
	山田町大沢*		岩泉町大川*		岩泉町岩泉* 普代村銅屋* 野田村野田*
	大船渡市大船渡町 釜石市只越町		釜石市中妻町*		住田町世田米* 盛岡市山王町
	二戸市福岡 二戸市石切所*		二戸市浄法寺町*		雫石町千刈田 雫石町西根上駒木野
	葛巻町葛巻元木 葛巻町消防分署*		葛巻町役場*		岩手町五日市* 八幡平市大更
	八幡平市叭田*		紫波町紫波中央駅前*		滝沢市鶴飼* 花巻市大迫町
	花巻市石鳥谷町*		花巻市大迫総合支所*		北上市相去町* 遠野市青笹町*
	遠野市宮守町*		一関市千厩町*		一関市東山町* 一関市室根町*
	西和賀町沢内川舟*		奥州市胆沢*		
2020年08月30日07時48分	岩手県沿岸南部	39° 02.8' N	141° 37.5' E	13km	M3.1
岩手県	震度 2 : 住田町世田米*				
	震度 1 : 大船渡市大船渡町 大船渡市猪川町		陸前高田市高田町*		

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

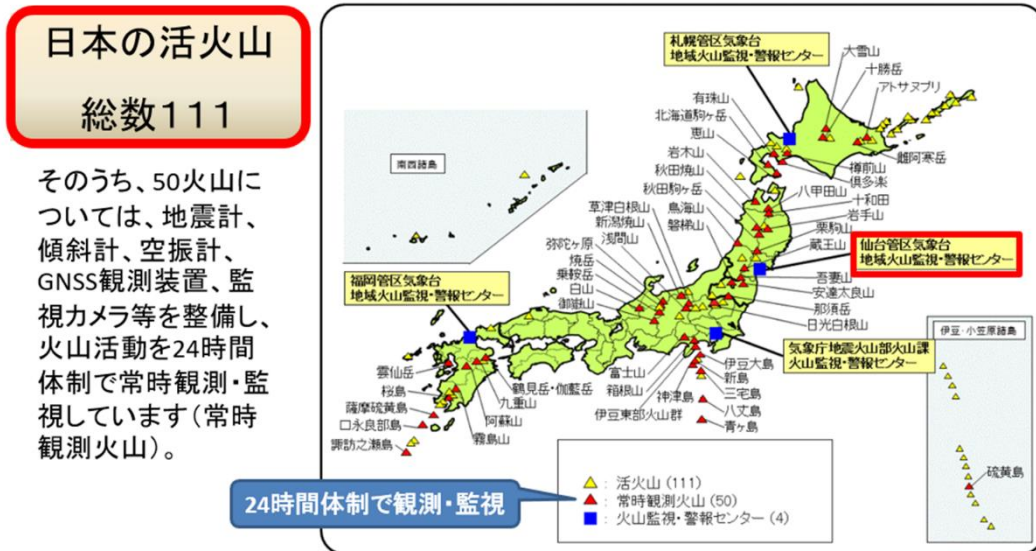
各地の震度は岩手県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

気象庁の火山監視体制

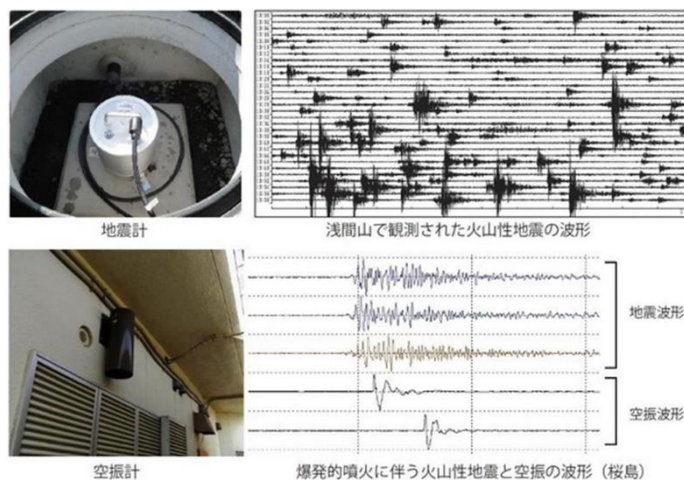
○常時観測

111の活火山のうち、「火山防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」50火山について、噴火の前兆を捉えて噴火警報等を適確に発表するために、地震計、傾斜計、空振計、GNSS観測装置、監視カメラ等の火山観測施設を整備し、関係機関（大学等研究機関や自治体・防災機関等）からのデータ提供も受け、火山活動を24時間体制で常時観測・監視しています



◆震動観測・空振観測

震動観測は、地震計により火山体及びその周辺で発生する火山性地震や火山性微動をとらえるものです。空振観測は、噴火などによって周囲の空気が振動して衝撃波となって大気中に伝播する現象を観測するものです。天候不良等により監視カメラで火山の状況を監視できない場合でも、地震記録や空振記録等により、噴火発生とその規模をいち早く検知することができます。



◆遠望観測（監視カメラ等による観測）

夜間でも星明かりのようなわずかな光で見ることのできる監視カメラ等により火山を遠望し、噴煙の高さ、色、噴出物（火山灰や噴石）、火映などの発光現象等を観測するものです。



高感度監視カメラで夜間に観測された桜島の噴火



高感度監視カメラにより、新燃岳の噴火の様子を観測



◆地殻変動観測（GNSS、傾斜計等による地殻変動の観測）

地殻変動観測は、地下のマグマの活動等に伴って、地殻に力が加わって生じる地盤の傾斜変化や山体の膨張・収縮を観測するものです。傾斜計では火山体直下へのマグマの貫入等による山体の傾斜を精密に計測できます。また、GNSS※観測装置では、他のGNSS観測装置と組み合わせることで火山周辺の地殻の変形を検出します。

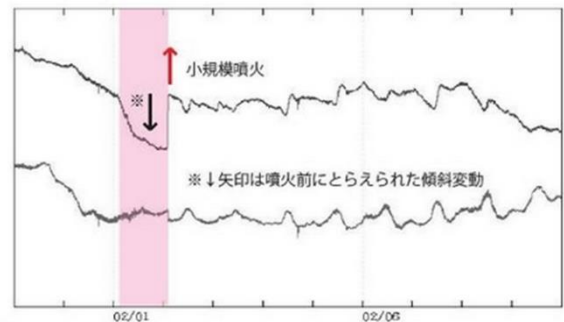
※ GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



GNSS観測装置



観測孔に埋設される傾斜計センサー



2009年の浅間山の噴火で観測された傾斜変動

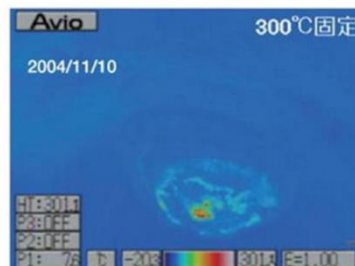
○機動観測

◆熱観測

赤外熱映像装置を用いた火口周辺の地表面温度分布の観測や、サーミスタ温度計を用いた噴気地帯等の噴気温度・地中温度の観測から、熱活動の状態を把握します。



浅間山山頂火口内の様子
(群馬県の協力による 2008年 7月24日)



浅間山山頂火口周辺の地表面温度分布



弥陀ヶ原 噴気温度の測定
(2012年 9月27日)

◆機上観測

ヘリコプターなどの航空機によって、上空からカメラや赤外熱映像装置などを用いて、地上からでは近づけない火口内や地熱域等の様子（温度分布や噴煙の状況等）や火山噴出物の分布等を観測します。



雄阿寒岳の噴火(北海道の協力による 2008/11/28)



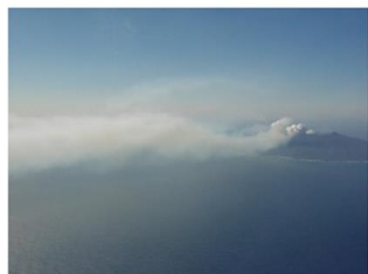
桜島昭和火口からの噴火
(海上自衛隊の協力による 2011/11/15)



諏訪之瀬島の噴火
(鹿児島県の協力による 2008/10/21)

◆火山ガス観測

火山ガスのうち二酸化硫黄の放出量は遠隔測定が可能であるため、火山ガス放出量の指標として、小型紫外線スペクトロメータ（COMPASS）という装置を用いて観測しています。



火山ガスを大量に含んだ噴煙（三宅島 2001年1月）



火山ガス観測装置：COMPASS



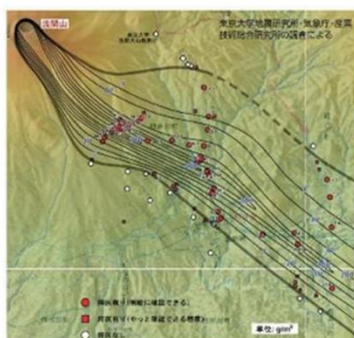
車での観測

◆噴出物調査

噴火が発生した場合、大学等研究機関と協力して、降灰や噴出物の調査を行い、噴火の規模や特徴を把握します。



浅間山の噴火に伴う大きな噴石
(2005年8月4日撮影)



国土地理院の発行の数値地図50m(標高)を使用
浅間山2009年2月2日の噴火の降灰分布



浅間山噴火に伴う降灰の調査
(2009年2月2日撮影)

○データ解析観測・評価

火山監視・警報センターではこれらの観測データの詳細な解析を行い、総合的に解釈することによって、噴火警報等の発表のための火山活動の評価を行います。